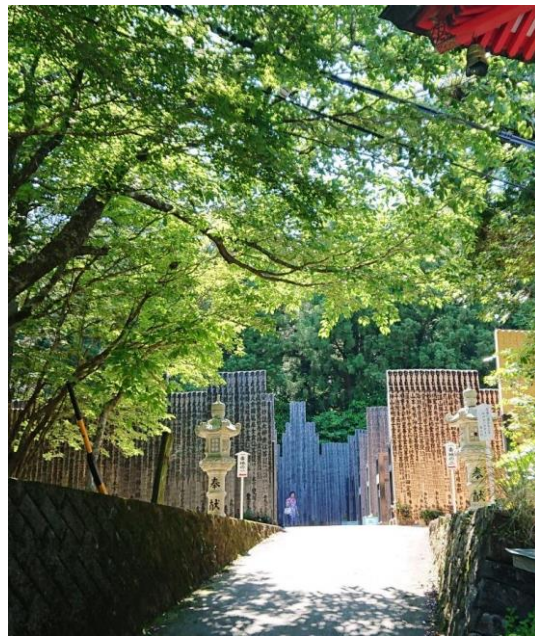


# 「家がいいね」 第193号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2020.6.1

「こ」が、あの1番地



5月末の木曜日、神宮の丑寅（鬼門）を守ると言われる朝熊岳の金剛證寺、奥の院の楼門に参上。竹内浩三の墓に詣でる気持ちもあつたのですが、塔婆の柱の林立する景色を見ると、義父の岳参りを思い出します。あれから20年余が経ちます。伊勢での葬儀には、宗派を問わず塔婆をここに立て供養する風習があることを知りました。天に近いようにとも言うのか、巨大な柱が並びます。訪れて迷うことも多く、番地が表示されています。ここは、ことさらに霊の濃い場所なのでしょう。

地上を俯瞰する場所です



展望台は伊勢湾が広がり伊良湖岬へ飛び石の島々のパノラマ風景です。素晴らしくも降りれば3密回避の世。それでも忘れずにいましょう。避けて生きるのではなく、共に生きるのです。人は、病も抱えつつ許しあって、生死を重ねていくのが世の中というものです。

生きるために、マスクを外す時もある！



子どもにマスクを強要させるな、と言いたい。小児科医の知見では、小児コロナ感染は家族からの結果であっても原因ではない。全国一斉休校指示は、専門家会議の推奨でも無かった。卒業式の準備を阻まれた小6が、涙ながらに私たちの気持ちを考えて決めてほしかったとのTVドキュメントもありました。そして登校再開となつて、今度は2メートルの距離がマスクに追加される有様です。学びの空間や時間が、体裁のために犠牲にされているのです。小児科医は、「2歳未満にマスクをするな」との警告もしています。生体が必要な呼吸にマスクで制限を加えて良いはずがない実例です。マスクで安心を得る気持ちの反面、安全でない体調の差異を考えると、「マスクを外せ！」と呼び掛けなければならぬ事態は、これから数多くあるでしょう。

熱中症に気を付けて

外で自粛しても、家の生活を委縮させる必要はありません。我が家では、マスクは外しましょう。各戸を訪問する私たちが在宅スタッフの方が十分に感染対策をしますので、家では気楽にして下さい。梅雨明けと共に蒸し暑さも本格化します。冷房や除湿をエアコンで実施すると共に、水分補充も心掛けて、暑苦しい時期を乗り切りましょう。戸外でも、周囲に人がいない時までマスク厳守するのは、真夏では危険だ！とさえ思っています。

7月からの健診や、がん検診は実施します  
落ち着いた日程で、実施をご相談ください。



自宅での人生を  
最期まで支援します

〒516-0805  
三重県伊勢市御園町高向 927  
電話 0596-20-8104  
ファクス 0596-20-8105  
メール [homecare@kr.tcp-ip.or.jp](mailto:homecare@kr.tcp-ip.or.jp)  
<http://isezaitaku.com>



→バックナンバー閲覧可